

SPEED Iに関する文部科学省へのお問い合わせの件

平成23年3月24日

文部科学省

1. SPEED Iの運用が原子力安全委員会に一元化されたことの経緯

3月16日（水）午前

緊急事態に鑑み放射能影響評価の充実のため、官房長官指示により、各省の役割分担を以下のように定めることとなった。

文部科学省…モニタリング情報等のとりまとめ及び公表

原子力安全委員会…モニタリング情報等を評価

原子力災害対策本部…評価に基づく対応

3月16日（水）午後

上記の役割分担を受け、SPEED Iの運用の指示は、原子力安全委員会が直接行うこととされ、SPEED Iのオペレーターは原子力安全委員会に移動した。

2. SPEED Iの開発及び運用に要する経費

○開発費（昭和61年度（1986年度）～平成21年度（2009年度））の累計
72.1億円

内容：運用システム開発、予測結果表示機能の開発、予測機能迅速化等

○運用費（平成5年度（1993年度）～平成21年度（2009年度））の平均
2.4億円／年

内容：計算機借料、人件費、光熱水料等

以上